中国地方整備局牧野副局長スペシャルインタビュー

（公社）日本港湾協会定時総会に、全国津々浦々から1000人近い港湾関係者が広島・福山市に参集します。福山まで来たからには、中国地方整備局管内の様々な港の魅力にも触れて欲しいと、港湾・空港担当である牧野浩志中国地方整備局副局長に、中国地整の港湾・空港政策、クルーズ振興、観光のポイント、災害対策などについてインタビューにお答え頂きました。

豊城㈱港湾新聞社代表取締役　本日は、ご多忙のところ、弊紙インタビューをお受け頂き有難うございます。今回、（公社）日本港湾協会定時総会で、たくさんの港湾関係者が、広島県福山市に伺うので、せっかくですから、中国地方整備局全体の港湾・空港についても、是非、聞かせて頂きたいと思ってオファーしました。

牧野中国地整副局長　現在、一番力を入れているのは、中国地方の産業活動の国際競争力強化に資する物流をしっかり実現していくことを目標にしています。そのため、今、3つの政策を進めていまして、1つは国際バルク戦略港湾による物流の向上ということです。全国10港湾が、穀物・石炭・鉄鉱石で選定されていますが、4港湾が中国地方にあります。穀物については、5月12日に水島港玉島地区の完成式典がありました。水島地区の14㍍岸壁については、今後整備を頑張っていきたいと思っています。石炭については、徳山下松港と宇部港が対象になっていまして、こちらについても、公共岸壁で1番深い19㍍の桟橋を下松地区で整備しています。これも今年度中に完成させたいということで、今、工事を一生懸命進めているところです。国際バルク戦略港湾をしっかりやっていくことが、日本の競争力向上に非常に大きく資すると思っています。2番目は、国際フィーダーの活性化です。今、和3年に週1便の定期化が実現しました。現在、週2便化を目指してコンテナ貨物の集荷活動を一生懸命やっています。3番目が国際拠点港湾である広島港の整備です。国際海上コンテナターミナルが出島地区にございます。こちらのコンテナ船の大型化に対応する港の整備を今、鋭意進めているところです。

豊城　瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会というのも画期的な試みですね。

牧野　この会議は平成3年から立ち上がっていまして、瀬戸内海の沿岸市町村が連携して、海の路の利用振興、地域の発展をしっかりやっていこうという会です。瀬戸内海の首長サミットが国際クルーズ船の再開に合わせ行われていて、昨年は大分県佐伯市で開催されました。国際クルーズ船の再開にあわせ、瀬戸内の魅力発信と、観光振興を図ろうという議論や、更には、大阪・関西万博を契機に地域を発展させて、瀬戸内海も振興していこうといった議論がなされております。今年度は5月24日に大阪府の堺市で開催されますので、有意義な議論を期待しているところでございます。

豊城　中国地方には、今、非常に数多くのクルーズ船が寄港しているということで有名ですよね。境港や尾道は非常に寄港回数が多いと聞いています。国土交通省でも2015年から、クルーズ振興に非常に力を入れ、予想を上回るほどの需要ができてきた時でしたが、コロナ禍で大打撃を受けました。しかし、コロナ収束と同時に最近はだいぶ盛り返してきて、クルーズ船の需要が非常に多くなってきており、インバウンドの方たちも数多くいらしてますよね。中国地整としては、この地方の海の魅力として、どういったものがあるのか？国内外のお客様に、どのように訴えていきたいというようなことがあれば、ぜひお聞きしたいです。

牧野　そうなのです。現在、この地域には、クルーズ船がかなり多く寄港しておりますのは、まず1番大きな魅力として、瀬戸内海の多島美かなと思います。瀬戸内海の多島美というのは、私は世界一なのではないかと思っています。明治の頃は、外国人観光客が日本に来るときには「一富士・二瀬戸・三桜」と言って、日本観光の目玉の2番目に瀬戸が位置付けられて、外国人観光客が当時から多く来られていたと言われています。広島は、昨年5月にG7サミットが開催されたこともありますし、世界遺産が、厳島神社と平和記念公園の原爆ドームと2つもありますので、非常に多く外国人が来てくれております。クルーズ船の寄港回数も本当に多くなってきています。しかし、世界遺産だけではなくて、瀬戸内海には、その島の自然・島の文化・食事とか、古代からのこの港ならではの魅力があり、こういったところも今脚光を浴びているところです。福山市の鞆の浦、大林宣彦監督の映画ロケ地で知られる尾道、軍港として有名で、映画やドラマ「海猿」の舞台になった呉などは人気観光地です。クルーズ船の観光客の方も、非常に多く、立ち寄られています。こういう新しい港町や島の魅力に対しては、世界の人も共感を得ているのではないのかなと思います。また、現在、瀬戸内海では、アートに非常に力を入れております。瀬戸内国際芸術祭など、世界の現代アートのファンが、大挙して押し寄せるというような事が起こっています。「直島」という島は瀬戸内に浮かぶ美術館とも言われ、島全体にアートが巡らされています。岡山から香川の間の島々に色々と現代アートが置かれているということで、宇野港には外国人観光客が、数多くいらっしゃるといったようなことになっています。特に瀬戸内海の楽しみ方は「小船で流れを感じる」とか、「島の山の上に登って全体を見る」とか、こういうのがお勧めなので、是非この島に滞在して頂き、船で渡って島を楽しんでいただくことをお勧めしたいと思います。また、瀬戸内海だけではなくて、日本海側も魅力があります。境港では弓ケ浜の美しい浜と、伯耆富士と言われる大山があります。この眺めが本当に綺麗で、皆さん感動なさると思います。そこに大型クルーズ船が泊まった時には非常に絵になります。いわゆる「映える」という場所になっています。特に日本海側は、夏がとても静かで綺麗な海ですので、これからも、大型クルーズ船が来ていただけるのではないかなと期待しています。また、中国地方では、内航クルーズ船も非常に充実しています。株式会社せとうちクルーズが保有するガンツウという船は「動く高級旅館」という愛称もあり、泊まって楽しめるクルーズ船で、今、非常に人気を博していまして、瀬戸内海を楽しむための1つのツールになっています。更には、岡山にある両備グループが、新たなクルーズ船の造船を進められているといったような情報も入っていまして、これから益々、瀬戸内海を含めたクルーズ振興が重要になってくるのではないかと思っております。

豊城　ウォーターフロント協会が中心となって、海の魅力を伝え続けている「Sea級グルメ」の全国大会が、今年の11月には境港で行われるということですよね。

牧野　はい、そうですね。境港は、蟹に代表されるグルメや、漫画家・水木しげるさんの出身地であり、NHKの朝ドラ「ゲゲゲの女房」の舞台として有名になりましたので、非常に人気が高いです。そういうところで、「Sea級グルメ」の全国大会が行われるということは、また、地域の魅力を発信していけるのではないかと思っております。

豊城　日本は世界でも珍しく四季があり、寒暖差があるため、非常に風光明媚で自然が豊かな国として知られています。ただ、地形的な問題なのか、常に災害と背中合わせという部分もありますよね。地震や津波、台風による集中豪雨・土石流・火山噴火による火砕流など大変多い事も確かです。近年ですと1995年の「阪神・淡路大震災」、2011年の「東日本大震災」、2016年の「熊本地震」、そして、今年の元旦に起きた能登半島地震などがありました。こういう時に、道路が断絶しても、海・空からのアプローチで支援物資を運んだり、救助隊が向かったりという事が非常に効果的だったと言われています。中国地方整備局では、災害時に、どのような取り組みをなさっていますか？

牧野　中国地方整備局では、平成30年7月の西日本豪雨で、非常に大きな災害を受けました。その時は、改正港湾法に基づいて、国が呉市管理の呉港を権限代行し、利用調整を行いました。呉港からの水の輸送・通勤客の輸送も、当時非常に喜ばれました。今年の能登半島地震につきましては、私自身、2週間ほど現地の対策本部に応援派遣で詰めておりました。その時に感じたのは、地震災害での初動の大切さです。道路だけではなく、今回も、港と空港が非常に活躍しておりました。港については輪島港が1㍍ほど隆起していたのですけれども、航路が確保できたということから、船舶が1月4日から入ってきております。能登空港も、翌日から自衛隊のヘリが発着しているということで、災害時の港湾・空港の重要性というのは、今回も再認識させられたところです。今、中国地方整備局として最も考えなくてはならないのは、近年高い確率で起こるだろうと想定されている南海トラフのプレート型の大地震ですね。中国地整管内も、非常に広範囲に被害を受けるのではないかと思っています。やはり、これにしっかり対応していくことが、この地域の港湾・空港を守る私たちの重要な仕事だと思っています。これに関しては令和3年に、中国の広域港湾BCPというのを策定しております。現在、能登半島地震の実際の結果を踏まえて、これを振り返りながら、もう1回最終点検をして、対応に抜けがないように、しっかり準備をしていこうと思っている次第です。

豊城　もちろん起きないことが望ましいですが、過去のデータから見ても、南海トラフ地震はかなりの確率で起きると言われておりますので、備えあれば憂いなしですね。

牧野　その通りです。防災対策は事前にきっちりと準備をしておくことが非常に重要なのです。中国地方整備局としては、どの様な状況になろうとも、この美しい瀬戸内の海を守り抜きたいという思いです。日本のではなく、「世界の瀬戸内海」にしていく事が、非常に大事だと思っています。先ほど言った様に、瀬戸内海には、フェリー、航路もいっぱいあるのですが、どれに乗ればどこに行けるのかと言うような事は、外の方には、なかなか判りにくいと言う声もありますので、そちらも整理して、うまく伝えていける様にしていきたいです。中国サイドから四国に渡れるルートは本当にいっぱいあるのです。それもフェリーがいっぱい走っていますから、自転車を乗せてもらって島を周遊して、四国巡りが出来るといったような、多様な楽しみ方も実はできるのです。そういったクルーズの楽しみ、島に渡って、島を楽しんで、また船で渡るというような新しいこの旅行のあり方が提供できるのではないかと思っております。瀬戸内海のクルーズ振興のために、瀬戸内海クルーズ推進会議が設置されています。

豊城　はい、とても精力的に活動していらっしゃいますよね。今、アクションプランを立てていらっしゃるとか？

牧野　令和元年にアクションプランを一度立てたのですが、コロナ禍で中々実施できずに来てしまったという、忸怩たる想いがございます。新しい魅力を含めて、今、新アクションプランをこの1年間かけて作ろうという動きがあります。そういう中で、先ほどの島の楽しさ、島に行くルートなどを、明確に提案していくとか、官民が連携して具体的にアクションすることによって、色々な方にこの島巡りの楽しさなどを知って頂きたいです。各々の島、各々の港町の特徴がありますので、そういったものを楽しんでいただきながら、島の振興等につなげていけるように、クルーズ振興をしっかりやっていきます。風光明媚な日本の魅力を求めていらした世界の方々にはもちろんですが、国内の方々にもアクセスしやすい環境を提供していきたいと強く思っています。

豊城　今回の（公社）日本港湾協会定時総会では、多くの国内港湾関係者が、福山のみならず中国地方を訪れますので、牧野副局長が言われた瀬戸内海の魅力に触れていっていただければと思っています。インバウンド客だけではなく、国内の方にも瀬戸の魅力を存分に知ってほしいですね。本日は貴重なお時間をとって頂き有難うございました。

牧野中国地整副局長

美しい多島美の瀬戸内海

日本三景安芸の宮島の厳島神社

万葉集にも読まれた鞆の浦

境港市出身の漫画家の水木しげる記念館

豊城㈱港湾新聞社代表取締役

一般社団法人
美しい日本を作る会

令和６年能登半島地震

この度は皆様の温かい心使いと心からの物資の提供、個人のプライベート時間も取って頂き誠にありがとうございます。
皆様あってのボランティア活動と心から思っております。
今後も引き続き皆様の温かい心の声援と共に活動して行きたいと思います。

支援者様からの物資の行き先と流れ。
「基本的主催団体」
一般社団法人　美しい日本を作る会

港湾・空港は日本の宝。
災害が多発する島国・日本では、被災地支援が命綱です。
被災後のインフラ確保・被災者救援物資配送などに命懸けの社団法人です。

HP：https://japan-make-beautiful.com/
E-mail：info@japan-make-beautiful.com

令和6年春の叙勲・褒章伝達式を開催
長年の功労の栄誉を称える　5月13・14日

国土交通省は5月13日(月)、午前11時前から、東京・水道橋の東京ドームホテルB1天空で、令和6年春の叙勲伝達式を開催した。

また、5月14日(火)午前11時半前から、東京・霞が関の国土交通省10階共用大会議室で、令和6年春の叙勲伝達式を開催した（写真下段）。

本紙既報の通り、政府は長年の功労の栄誉を称え、令和6年春の叙勲受章者（4月29日付）として283名を4月19日の閣議で決定し、公表している。

また、令和6年春の褒章受章者（4月29日付）を藍綬4名、黄綬54名、緑綬2団体を4月16日の閣議で決定し、公表している。

5月14日(火)の叙勲伝達式では、はじめに、斉藤鉄夫国土交通大臣に代わって尾﨑正直国土交通大臣政務官が勲章の伝達を行なった。

続いて、尾﨑国土交通大臣政務官が「本日、大臣が公務のため出席者がかないませんので、大臣から預かってまいりました祝辞を私から代読をさせていただきます。令和6年春の勲章伝達式があり、一言お祝いを申し上げます。ただいま、天皇陛下から授与されました勲章を謹んで伝達申し上げました。今回受賞された皆さまは、建設、運輸、海上保安、気象など、国土交通行政の各分野においてご尽力をいただいた方々でございます。輝かしいご功績に対し、深く敬意を表し、感謝を申し上げますとともに、今回のご栄誉を心からお喜び申し上げます。

わが国は、激甚化・頻発化する自然災害への対応、所管業界の担い手の確保、物価高に負けない賃上げの実現など、解決すべきさまざまな課題に直面をしています。国土交通省では、国民の安全・安心の確保、持続的な経済成長の実現、個性を生かした地域作りと分散型国作り、この三つを柱として、防災・減災、国土強靱化、海上保安能力の強化、持続可能な物流建設業の実現、各分野の担い手の確保や生産性の向上、持続可能な観光の推進、地域公共交通のリ・デザイン、安心して暮らせる住まいの確保など、さまざまな政策を全力で進めておるところでございます。改めて、国土交通行政の推進にご理解、ご協力を賜りましたことを心から感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援をお願いいたします。結びに、皆さまの更なるご発展を心より祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。代読でございます。本日は誠におめでとうございます」と祝辞を述べた。

以上をもって閉式した。式典後、受章者と家族は皇居春秋の間にて天皇陛下へ拝謁し、長年の功労を労われた。

瑞宝中綬章の堀川元東北地方整備局副局長と令夫人

令和6年度褒章伝達式の模様

『みなとのいちにち　コンテナくんのたび』
港湾に親しむ絵本　重版出来　4月30日

港湾物流の中核を担うコンテナ。1950年代に登場した「コンテナ」は、物資の輸送やグローバルサプライチェーンの構築に大きな影響を与えた。経営学者のピーター・ドラッカーは、コンテナの登場を「世の中を一変させたイノベーション」と評しているほど。

そのコンテナをテーマに作家活動をしているのが、谷川夏樹氏である。

2000年からは、屋号をEARTH（アース）CONTAINER（コンテナ）として、コンテナをテーマとした作家活動をはじめた。

風景の中にコンテナを描き込んだ油彩・アクリル・ドローイングなどの平面作品と平行して、実物のコンテナに、「コンテナくんと仲間たち（オーピッツ）」の顔をペインティングするワークショップも展開している。世界を旅するコンテナを通じて、アートと社会の関わりについての可能性を探っている。

代表作は、絵本「コンテナくん」（福音館書店）、月刊かがくのとも「かもつせんのいちにち」「うみのみちしるべ」（福音館書店）。神戸市副教材絵本「神戸みなと物語」（青山大介・谷山夏樹共著）。2018年山縣勝見賞特別賞受賞。

国内の貨物を運ぶ内航船を応援するため「内航船の日」（7月15日）を提唱している。

今回谷川氏が取り組んだのは、コンテナを通じた港の役割や実際の港の様子を紹介する絵本である。

同書は、コンテナを擬人化したキャラクター「コンテナくん」の旅を通して、港湾ではどのように貨物が運ばれていくのかということや、どのような仕事が行われているのかということを学んで頂ける小学校低学年を対象とした絵本である。

付録に、港湾を一望できる鳥瞰図が付いている。

作中では、多くの荷物を世界中に運ぶ「コンテナくん」が、とある大きなみなとから旅に出ようとしている、という設定で物語を展開する。

「コンテナくん」は、大きなみなとで新幹線を運ぶ船やコンテナを積み込むクレーン、大きな船を押して移動を手伝うタグボート等、荷役作業や港湾物流に欠かせない多種の船や人々に出会う。

具体的には、以下の船・機械・施設・人を取り上げている。

・みなとではたらく船の例として、バラ積み船、一般貨物船、コンテナ船、自動車運搬船、リーファーボート等

・みなとではたらく機械の例として、ガントリークレーン、トランスファークレーン、フォークリフト等

・みなとの施設の例として、岸壁、コンテナヤード、上屋、防波堤、灯台、係船柱、消波ブロック等

・みなとではたらく人たちの例として、クレーン操縦士、繋離船作業員、ターミナルオペレーター、ラッシング作業員等

コンテナくんの旅や出会いを通して、日常生活ではなかなか立ち入ることができない、「みなと」の世界を知ることができる1冊となっている。

また、付録には空を飛ぶ鳥の目線から見た港町の風景を描いた絵図「鳥瞰図」付き。

「みなと」がどのような造りになっているのか、鳥と一緒に空から一望して学べる仕組みになっている。

「鳥瞰図」を作成したのは青山大介氏。青山氏は、1976年兵庫県神戸市生まれの鳥観図絵師である。

日本では数少ない都市鳥観図絵師として、神戸、東京渋谷、大阪梅田、姫路、函館などを描いている。代表作は「港町神戸鳥瞰図」。

神戸市副教材絵本「神戸みなと物語」（青山大介・谷川夏樹共著）。神戸海洋博物館展示「飛鳥Ⅱ」など、船舶を描いた作品も多数ある。

2023年神戸市文化奨励賞　受賞。神戸港ウェルカムポイントの会を創設。

また、『みなとのいちにち　コンテナくんのたび』は、3月29日の発売以来好調な売れ行きで、4月30日には重版出来（じゅうはんしゅったい＝2版が発売となること）している。

大手出版社でも、重版率は1割ほどと言われている。絵本としては異例の売れ行きで、高い注目をあつめているようだ。その秘密について、作者へインタビューした。

【作者青山氏へインタビュー】

絵本を作成するきっかけ等を、近畿地方整備局港湾空港部が、作者である谷川氏に詳しくうかがった。

Q絵本『みなとのいちにち　コンテナくんのたび』を作成された目的は。

日本では、食品や原材料など100㌔近い物資が港湾を経由して海外から運ばれている。しかし、港湾とその区域には一般の人々が入ることができないために、決して馴染みがある場所とは言えない状況だ。

そこで、港湾を出入りする貨物船や港湾で働く人達やその仕組みについて、幅広く理解していただくことを目的として、絵本にした。

Q絵本作成のきっかけは。

谷川氏と青山氏は、これまでも港湾を題材にした企画展や、神戸市立小学校の副教材の作成などを実施してきた。

「より多くの方々に港湾の魅力を伝えたかった」という思いから、今回の絵本の作成をスタートした。

Q誰に読んでほしいか。

作成の過程では、作者の2人がコンテナターミナルやリーファーポート、港湾で働く方々を育成する研修センターなどを直接取材した。「ガントリークレーンの操縦席に実際に座り、取材したことは特に印象的だった」と話す。

絵本自体は、小学校低学年を想定して作成した。丁寧な取材をしたため、専門的な内容も含まれており、大人も楽しめる内容に仕上がっていると自負している。

「子ども向けに作成した絵本ですが、それに留まらず、読み聞かせをする親世代の方々にもご関心を持って頂ければ。

Q『みなとのいちにち　コンテナくんのたび』をきっかけにこうなったら良いなと期待する未来像は。

この絵本が長く愛され、子どもや多くの方々が、世代を超えて港湾に関心を持つきっかけになれば、との思いだ。

『みなとのいちにち　コンテナくんのたび』書影

著者の谷川氏（右）と「鳥瞰図」絵師の青山氏

【書籍概要】

タイトル＝みなとのいちにちコンテナくんのたび

著者＝絵本　谷川夏樹

付録鳥瞰図　青山大介

定価＝1、650円(税込)

仕様＝30・5×21・5㌢

出版社＝㈱　ウェイツ

発売日＝2024年3月29日

【取材協力・資料提供】

㈱上組、（一財）港湾労働安定協会　港湾技能研修センター、阪神国際港湾㈱、協同組合神戸タク協会、早駒運輸㈱、双葉汽船㈱、（一社）日本消波根固ブロック協会、㈱木動テトラ、技研工業㈱、㈱チスイ(順不同)

※概要・画像は、国土交通省近畿地方整備局港湾空港部ご提供

国際バルク戦略港湾水島港（玉島地区）
完成式典を開催　5月12日

国土交通省中国地方整備局および岡山県と倉敷市は、5月12日(日)午前11時から、岡山県倉敷市の玉島ヨ17号埠頭内で、国際バルク戦略港湾水島港（玉島地区）完成式典を開催した。

伊東倉敷市長　伊原木岡山県知事　加藤衆議院議員　稲田国土交通省港湾局長　橋本衆議院議員

伊原木隆太岡山県知事が「本日は加藤衆議院議員、橋本衆議院議員をはじめとする国会議員の皆さま、江本副議長をはじめとする県会議員の皆さま、伊東市長をはじめとする倉敷市の皆さま、稲田港湾局長をはじめとする国土交通省の皆さま、そして地元関係の皆さま、工事関係の皆さまに、ご多忙のところご臨席を賜り、また、県政の推進に当たり、平素からご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私は知事に就任以来、全ての県民が明るい笑顔で暮らす、『生き活きおかやま』の実現のため、産業の振興を県政の最重要課題として位置づけており、中でも本県産業の中核を担う水島コンビナート、それを玄関口として支える水島港の発展は、本県にとって必要不可欠であり、私も自ら先頭に立ち、本県の優位性を生かした成長産業の誘致と水島港の機能強化に全力で取り組んでおります。こうした中、このほど水島地区と玉島地区を結ぶ水島玉島航路の供用開始により、国際バルク戦略港湾水島港整備事業における玉島地区での施設整備が完了をいたしました。これにより、両地区の穀物関連事業の連携が進み、水島港の機能強化が図られ、本県経済の更なる発展に大きく寄与することと確信しております。本県といたしましても、本事業による効果を広く波及させるため、引き続き、水島地区の施設整備を進め、水島港の機能強化に全力で取り組んでまいりたいと存じます。結びに、今後の水島港の発展のため、ますますのご支援をお願いいたしますとともに、皆さまのご健勝で多幸を祈念いたしまして、式辞といたします」とあいさつした。

次に、伊東香織倉敷市長が「この事業は、これからの水島港の将来を決めていく、そういう大きな事業でございます。平成23年度からこれまでの間、国際バルク戦略港湾に指定をいただき、多くの国会・県会・市議会、そして地元関係者の皆さま、多くの皆さまのご支援によりまして、今日の日を迎えることができましたこと、心から感謝を申し上げる次第でございます。穀物飼料関係は、世界的にも大変価格が高騰し、また輸送費用も大変高騰しているなかで、この水島港の中で、水島・玉島両地区に拠点ができることは、この地区にとって、そして日本国にとって大きなものであると思います。今日の日を迎えられましたことを関係者の皆さん全てに心から感謝を申し上げ、そして、本日は港湾局がお越しでございます。今後、水島地区の水深14㍍化推進の方もお願い申し上げ、主催者としてのあいさつとさせていただきたいと思います。皆さま本当にありがとうございました」と述べた。

続いて、稲田雅裕国土交通省港湾局長が「倉敷少年少女合唱団の伸びやかな歌声に心があらわれる思いがしました。水島港は、年間取り扱い量8千万㌧と日本の港の十指にはいる取り扱い量を誇る中国地方最大の港湾です。背後圏には多数の穀物関連企業が集積しています。世界的にバルク船が大型化・大水深化する中で、大型船に対応できる港湾機能の確保が必要となっています。水島玉島航路の供用が開始したことで、令和2年6月に供用開始したハーバーアイランド7号ふ頭と併せて、水深12㍍を要する大型船の着岸が可能となりました。国土交通省としましては、水島港の整備をこれからも着実に進め、岡山県、倉敷市、さらには関係者の皆さまと連携し、水島港の発展に寄与したいと考えます」とあいさつした。

来賓の祝辞に移り、加藤勝信衆議院議員が「水島港玉島地区の整備の完成を心からお喜びいたします。振り返ると十数年前からということでありますけれども、本当に多くの皆さん方の努力の中で今日この日を迎えられたことに心から感謝を申し上げます。この港湾整備で、輸送の効率化を図ることによって、相当なプラスの影響が出ると期待をされています。しかし、本日は玉島地区が完成したと。全体が完成して初めて効率的な輸送ができるところでございます。これから水深14㍍化等々、これをしっかりと進めていきたいと考えております。そういった意味で、稲田局長が合唱で心が洗われたとおっしゃったように、澄んだ気持ちで、次年度からの予算要求にしっかりと取り組んでいただけるよう、国会議員の皆さんと一緒にがんばっていきたいと思っております。本日はおめでとうございます」と祝辞を述べた。

次に、橋本岳衆議院議員が「本日はこうして多くの皆さま方の参加をいただきまして、国際バルク戦略港湾水島港の玉島地区の完成を心からお喜び申し上げますとともに、いただいた皆さま方のさまざまなご尽力に感謝申し上げます」とあいさつした。

続いて、柚木道義衆議院議員、石井正弘参議院議員、小野田紀美参議院議員、谷合正明参議院議員が登壇し、祝辞を述べた。

ここで来場した来賓を紹介し、祝電を披露した。

次に、笹岡実也宇野港湾事務所所長が国際バルク戦略港湾水島港（玉島地区）の事業経過説明を行なった（事業概要は文末に）。

完成記念セレモニーは、テープカットとくす玉開披を至内で行ない、記念撮影を行なった。

以上をもって閉会した。

水島港（玉島地区）完成式典の記念撮影

【国際バルク戦略港湾水島港（玉島地区）事業】

水島港の機能強化を図るため、『水島港国際物流ターミナル整備事業』を進めており、このたび、水島港玉島地区において、新たな岸壁（水深12㍍）と接続する航路（水深12㍍）が完成し、輸送の効率性が向上した。

◎事業箇所＝岡山県倉敷市

◎事業の概要

・整備内容

［玉島地区］岸壁（水深12㍍）、航路・泊地（水深12㍍）、泊地（水深12㍍）

ふ頭用地、荷役機械

［水島玉島地区］航路（水深12㍍）

［水島地区］岸壁（水深14㍍）（改良）、航路・泊地（水深14㍍）、泊地（水深14㍍）荷役機械

・事業期間

平成29年度～令和11年度

・総事業費

369億円（うち玉島地区および水島玉島地区239億円）

※画像・データは国土交通省中国地方整備局宇野港湾事務所ご提供

敦賀港複合一貫輸送ターミナル
整備事業着工式典を開催　5月12日

国土交通省北陸地方整備局と福井県の共催で、5月12日(日)午後3時から、福井県敦賀市の敦賀港（鞠山南地区）国際物流ターミナル内鞠山南コンテナ・フレート・ステーションで、敦賀港（鞠山南地区）複合一貫輸送ターミナル整備事業着工式典を開催した。約100名の関係者が参集し、盛況であった。

はじめにオープニングアクションとして、NPO法人JBstudio所属JBチアーズがダンスを披露した。総勢13名のメンバーが、会場を大いに沸かせた。

主催者あいさつへ移り、堂故茂国土交通副大臣が「『敦賀港鞠山南地区複合一貫輸送ターミナル整備事業着工式典』にあたりまして、国土交通省を代表してごあいさつを申し上げたいと思います。はじめに、元旦に能登半島で地震がございました。尊い命が失われた訳であります。亡くなられた皆さま方のご冥福をお祈り申し上げたいと思います。今なお困難な立場にある被災された全ての皆さまにお見舞い申し上げたいと思います。国土交通省としては、しっかりと復旧・復興に取り組んで参りたいと存じます。また、3月16日には北陸新幹線の敦賀までの開業がなされました。私も参会させていただきまして、本日地元の富山から新幹線を利用して参りました。大変便利で快適に敦賀までお邪魔させていただくことができ、本当に素晴らしいなと思います。この新幹線にずっと取り組んでこられた高木先生、滝波先生、そして杉本県知事や米澤市長さん、さらには宮本議長はじめ県会議員の皆さん、馬渕敦賀市議会議長はじめ市会議員の皆さん、皆さま方のこれまでの努力に心から敬意を表したいと思います。さて、本年4月からトラックドライバーの残業規制が始まりました。いわゆる『物流の2024年問題』であります。この問題に対応するため、昨年10月には『物流革新緊急パッケージ』を策定し、鉄道や内航海運の輸送量を今後10年程度で倍増するという目標を掲げ、内航フェリーやRORO船の活用促進を図っているところです。ここ敦賀港においても、貨物需要の増大に伴い、九州航路におけるRORO船の大型化への対応が喫緊の課題となっていました。本事業により、大型のRORO船を安全かつ効率的に利用することが可能となり、ご地元の経済活動の競争力強化につながると確信しております。また、今回整備するのは耐震強化岸壁であり、災害対応力の強化にも貢献するものと期待しておりますが、本日ご臨席の皆さま方の更なる発展とご多幸、本事業を契機とした敦賀港の益々の発展を心からお祈りいたします。どうぞよろしくお願いいたします」と主催者あいさつを述べた。

続いて、杉本達治福井県知事が「ご案内のとおり、この敦賀港は古の時代から天然の良港と言われています。現在でも、韓国との国際定期航路や北海道や九州両方を結ぶ定期航路、RORO船の定期航路がある唯一の日本海側の港で、日本海の中でも極めて重要な物流の拠点となっています。昨年の11月26日には、ここに国際物流ターミナルの供用を開始させていただきました。220㍍の岸壁と4・8㍍の埠頭整備をさせていただきます。さらに県では、ガントリークレーンを新たに増設させていただく着工に向けて準備をさせていただいております。さらに大きな5万トン級のコンテナ船やRORO船も活用できるようになり、2024年問題やモーダルシフト等の諸課題にも対応ができるよう、大型化・効率化して多くの荷物を扱えるようになると考えているところです。さらには、北陸新幹線が開通し、7月には大型のクルーズ船にも入っていただきます。敦賀港は、物流でも人流でもこれからどんどん力を発揮し、この地域全体と、もしも太平洋側に何かあった時の代替港という、大きな役割も果たしていかなければいけないということです。今回の事業が無事に一日も早く完成できますことを心よりご祈念申し上げ、皆さま方のご健勝ご多幸をご祈念申し上げまして、私からの御礼のごあいさつとさせていただきます」と述べた。

来賓のあいさつにうつり、高木毅衆議院議員が「本日はこの国際物流埠頭がいよいよ事業化され着工ということでございまして、改めてお祝いを申し上げ、御礼を申し上げたいと思います。いかにこの敦賀港が大事であるかということの証左と思います。北海道からのRORO船が敦賀について、そしてそれを博多まで、また荷物を運ぶ積み替えをするわけですが、今回のこの事業が完成すれば、並べて対応できるということで、物流がスムーズに行きます。本当にこの時代のニーズにマッチしたものが、本日の着工に結びついたと思うところです。5年間の工事期間、工事関係者の皆さま方には十分に安全に気をつけていただきまして、立派な埠頭、岸壁をお作りいただいて、物流の危機に対応できる素晴らしいものをお作りいただきたいと思います。皆さま方に心からの感謝を申し上げてあいさつとさせていただき